
私は誰かに恋をする

木村カエ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は誰かに恋をする

【Nコード】

N5329I

【作者名】

木村カエ

【あらすじ】

みなさんにとって恋ってなんですか？

純粋なハタチの女の子が、どのように素敵な女性へと成長するのか？
「恋とは何か」を考えながら、一人の女の子の成長を追う！

1. 新入社員

桜サク。

晴れて私は社会人。

スッチーを夢見てた私は、何故かOLに、そして1年後には彼についていく。

「青山さん、おはようございます。」

振り向くと優しそうな女性が立っていた。

私はその女性のあとを日差し差し込む廊下を歩いていく。

目の前にはたくさんの人、人、人。

「新入社員の青山サキです。気合で頑張ります！」
着慣れないスーツで部内挨拶。

周りからは社会人らしくない初々しい挨拶に笑いが起こる。

2

先ほどの優しそうな女性に連れられて席に座った。

正面には無愛想な中年の女性が、斜め右前にはヘラヘラした眼鏡を掛けた中年の男性。

そして横にはシャツの似合う女性が座っていた。

「青山さん」横から声がする。

「私は小野と言います。これからよろしくお願いします。」

「あ……、はい。よろしく願います。」なんとなく返事をする。

「青山さんはバリバリ働きたいタイプ？」

(いきなりそんな質問……?)

「あ、いえ。1年くらいで辞めようかと思ってます。」

「?!・・・そうなの?勿体無いね。なんで?」

「彼が来年就職して、横浜に行くのでついて行くつもりです。」

そう、私は来年付き合っている彼についていく。

大好きな彼と結婚したい。

1・新入社員（後書き）

青山サキは新入社員。

恋愛もまだまだ新人でとつても純粹。

彼女が今後どのように変化していくのかを見て頂けると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5329i/>

私は誰かに恋をする

2010年10月28日07時41分発行